

稲沢市コミュニティバス
及びコミュニティタクシー
利用状況等報告書

平成 24 年 7 月

市長公室地域振興課

目 次

1	コミュニティバス事業の概要及び経緯	1
2	コミュニティバスの利用状況	1
	(1) コミュニティバスの1日当たり及び1便当りの利用者数	1
	(2) コミュニティバスの曜日別利用者数	5
	(3) コミュニティバスの追加便運行状況	6
3	コミュニティタクシーの利用状況	8
4	コミュニティバスの利用者1人当たりの運行経費における市負担額	12

1 コミュニティバス事業の概要及び経緯

稲沢市地域公共交通会議で協議した『コミュニティバス運行事業計画』に基づいて、平成20年7月1日から平成22年6月30日までの2年間、2路線（東西幹線、南北幹線）を乗車定員9人の運行車両3台（東西幹線2台、南北幹線1台）でコミュニティバスを、また、旧祖父江町区域内でタクシー車両によるコミュニティタクシーを試行運行しました。

同会議では、この期間における利用状況、乗降調査及び市民アンケートの結果を研究・分析し、『コミュニティバス運行事業計画』における課題と問題点を整理して、利便性の向上等を目的として運行路線、運行車両及び時刻表等の変更について協議検討を重ね、『同計画』の変更を行いました。

平成22年6月に中部運輸局から運行事業計画変更の認可を得て、平成22年7月1日から3路線4系統として祖父江・下津線（ふれあいの郷系統及び地泉院系統）を乗車定員14人の運行車両2台で、平和・千代田線及び大里循環線を乗車定員9人の運行車両2台の計4台によるコミュニティバスと、旧祖父江町区域内のコミュニティタクシーによる本格運行を開始し、1年11か月が経過しています。

この『報告書』は、平成22年7月1日（木）から平成24年5月31日（木）までの期間におけるコミュニティバス並びにコミュニティタクシーの利用状況についてまとめたものです。

2 コミュニティバスの利用状況

(1) コミュニティバスの1日当たり及び1便当たりの利用者数

コミュニティバスの1日当たりの利用者数は、2ページの表のとおりとなります。

試行運行期間（平成20年7月1日～平成22年6月30日）における1日当たりの利用者数の平均は152人でしたが、本格運行を開始後の平成22年7月1日から平成24年5月31日までの1日当たりの利用者数の平均は196人（約29%増）となっています。

特に、本格運行2年目となる平成23年7月1日から平成24年5月31日までの1日当たりの利用者数は、210人（約38%増）となっています。

これは、祖父江・下津線と大里循環線の利用者数が1年目より増加したことによるものです。

○ コミュニティバス路線別の利用者数

路線 月() は運行日数	祖父江・ 下津線 (JR 稲沢 駅方面) 〔7便〕	祖父江・ 下津線 (祖父江 方面) 〔8便〕	小 計	平和・ 千代田線 (市民会 館行き) 〔4便〕	平和・ 千代田線 (千代田・ 平和方面) 〔4便〕	小 計	大里 循環線 〔6便〕	合 計	1日当 り利用 者数
平成22年 7月(26日)	1,649人	1,403人	3,052人	303人	252人	555人	1,008人	4,615人	178人
8月(26日)	1,672人	1,458人	3,130人	322人	324人	646人	940人	4,716人	181人
9月(24日)	1,553人	1,385人	2,938人	328人	280人	608人	1,054人	4,600人	192人
10月(25日)	1,646人	1,482人	3,128人	350人	285人	635人	954人	4,717人	189人
11月(24日)	1,544人	1,375人	2,919人	290人	229人	519人	855人	4,293人	179人
12月(23日)	1,545人	1,351人	2,896人	304人	247人	551人	832人	4,279人	186人
平成23年 1月(23日)	1,341人	1,172人	2,513人	267人	264人	531人	755人	3,799人	166人
2月(22日)	1,420人	1,178人	2,598人	277人	283人	560人	776人	3,934人	179人
3月(26日)	1,795人	1,560人	3,355人	323人	332人	655人	965人	4,975人	191人
4月(25日)	1,502人	1,322人	2,824人	306人	316人	622人	933人	4,379人	175人
5月(23日)	1,492人	1,321人	2,813人	250人	247人	497人	975人	4,285人	186人
6月(26日)	1,767人	1,582人	3,349人	298人	282人	580人	1,152人	5,081人	195人
7月(25日)	1,711人	1,592人	3,303人	330人	332人	662人	1,195人	5,160人	206人
8月(27日)	1,912人	1,689人	3,601人	320人	301人	621人	1,295人	5,517人	204人
9月(24日)	1,597人	1,446人	3,043人	271人	288人	559人	1,214人	4,816人	201人
10月(25日)	1,807人	1,618人	3,425人	284人	294人	578人	1,283人	5,286人	211人
11月(24日)	1,931人	1,644人	3,575人	289人	291人	580人	1,158人	5,313人	221人
12月(23日)	1,858人	1,580人	3,438人	296人	261人	557人	1,210人	5,205人	226人
平成24年 1月(23日)	1,534人	1,320人	2,854人	266人	247人	513人	944人	4,311人	187人
2月(23日)	1,642人	1,507人	3,149人	307人	322人	629人	1,116人	4,894人	213人
3月(26日)	2,030人	1,788人	3,818人	307人	309人	616人	1,188人	5,622人	216人
4月(24日)	1,811人	1,567人	3,378人	306人	323人	629人	1,182人	5,189人	216人
5月(24日)	1,730人	1,576人	3,306人	286人	260人	546人	1,161人	5,013人	209人
合 計	38,489人	33,916人	72,405人	6,880人	6,569人	13,449人	24,145人	109,999人	—
平 均	1,673人	1,475人	3,148人	299人	286人	585人	1,050人	4,783人	196人

次に、コミュニティバスの1便当りの利用者数は、次の表のとおりとなります。

このうち、コミュニティバス1便当りの利用者数の平均の変化を路線別に比較してみますと、東西幹線 上り(ふれあいの郷⇒下津市民センター)7.8人に対して祖父江・下津線 JR稲沢駅方面(ふれあいの郷または地泉院前⇒リーフウォーク稲沢)9.8人(約26%増)、東西幹線 下り(下津市民センター⇒ふれあいの郷)8.0人に対して祖父江・下津線 祖父江方面(リーフウォーク稲沢⇒ふれあいの郷または地泉院前)7.6人(約5%減)となっています。

また、南北幹線は運行距離の短縮を図るために平和・千代田線と大里循環線の2路線に分けたので、それぞれの路線と比較してみますと、南北幹線 上り(ヨシヅヤ平和店⇒国府宮駅)3.7人に対して平和・千代田線 市民会館・中央図書館行き3.1人(約16%減)、南北幹線 下り(国府宮駅⇒ヨシヅヤ平和店)3.7人に対して平和・千代田線 千代田・平和方面2.9人(約22%減)、南北幹線 上り・下りを合わせた3.7人に対して大里循環線7.2人(約95%増)となっています。

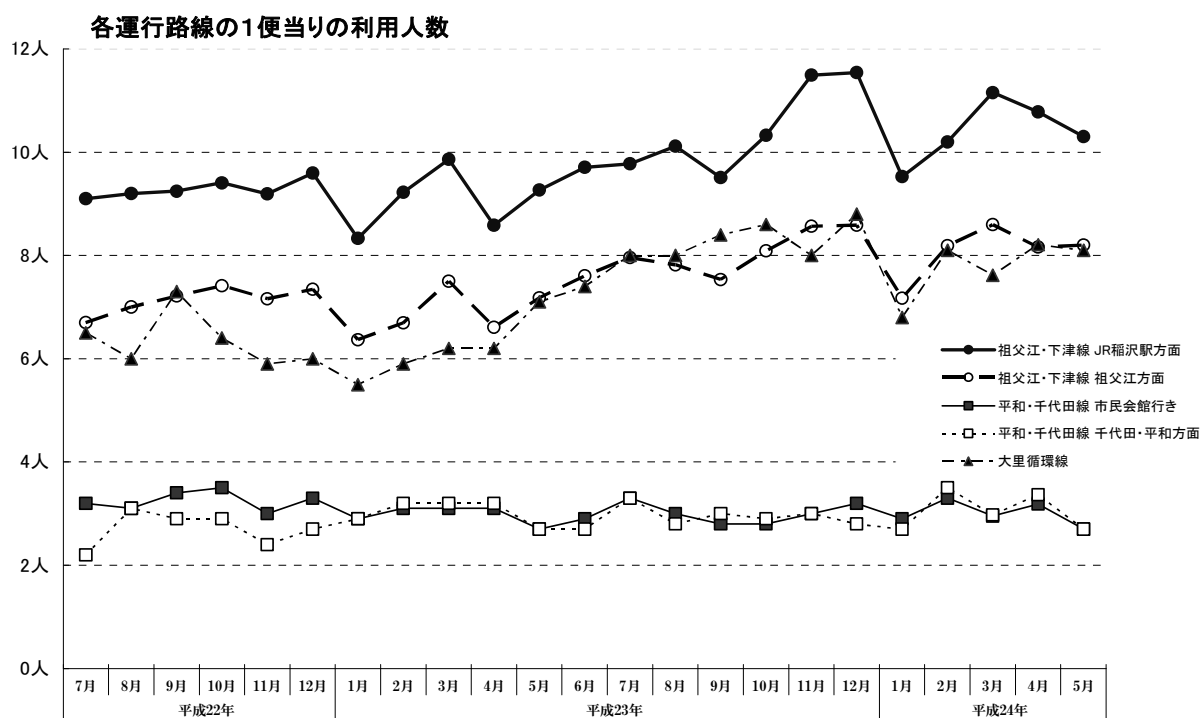
大里循環線は、運行路線の区間「アピタ稲沢店～市民会館・中央図書館」が祖父江・下津線と重複しており、この区間の利用者が多いため、南北幹線と比較いたしますと大幅な利用者数の増加となっています。

○コミュニティバス1便当りの利用者数

年月	祖父江・ 下津線 (JR稲沢駅 方面) 〔7便〕	祖父江・ 下津線 (祖父江 方面) 〔8便〕	平和・ 千代田線 (市民会館 行き) 〔4便〕	平和・ 千代田線 (千代田・ 平和方面) 〔4便〕	大里循環線 〔6便〕
平成22年7月	9.1人	6.7人	3.2人	2.2人	6.5人
8月	9.2人	7.0人	3.1人	3.1人	6.0人
9月	9.2人	7.2人	3.4人	2.9人	7.3人
10月	9.4人	7.4人	3.5人	2.9人	6.4人
11月	9.2人	7.2人	3.0人	2.4人	5.9人
12月	9.6人	7.3人	3.3人	2.7人	6.0人
平成23年1月	8.3人	7.3人	2.9人	2.9人	5.5人
2月	9.2人	6.7人	3.1人	3.2人	5.9人
3月	9.9人	7.5人	3.1人	3.2人	6.2人
4月	8.6人	6.6人	3.1人	3.2人	6.2人
5月	9.3人	7.2人	2.7人	2.7人	7.1人
6月	9.7人	7.6人	2.9人	2.7人	7.4人
7月	9.8人	8.0人	3.3人	3.3人	8.0人
8月	10.1人	7.8人	3.0人	2.8人	8.0人
9月	9.5人	7.5人	2.8人	3.0人	8.4人
10月	10.3人	8.1人	2.8人	2.9人	8.6人
11月	11.5人	8.6人	3.0人	3.0人	8.0人

12月	11.5人	8.6人	3.2人	2.8人	8.8人
平成24年1月	9.5人	7.2人	2.9人	2.7人	6.8人
2月	10.2人	8.2人	3.3人	3.5人	8.1人
3月	11.2人	8.6人	3.0人	3.0人	7.6人
4月	10.8人	8.2人	3.2人	3.4人	8.2人
5月	10.3人	8.2人	3.0人	2.7人	8.1人
平均	9.8人	7.6人	3.1人	2.9人	7.2人

次のグラフは、1便当りの利用者数を運行路線別に示したものです。



(2) コミュニティバスの曜日別利用者数

次の表は、平成22年7月1日から平成24年4月30日までの1日当りの利用者数を曜日別に示したものです。

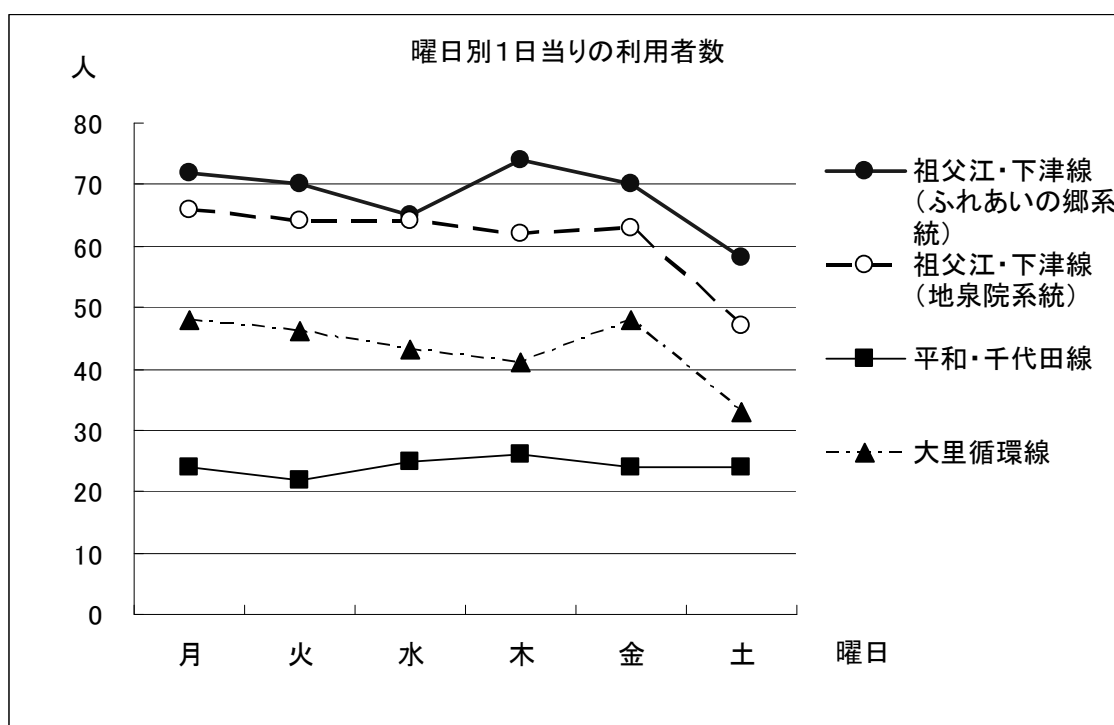
3路線とも月曜日から金曜日までの利用者数には大差ありませんが、土曜日における利用者数と平日における利用者数の平均を比較しますと、祖父江・下津線ふれあいの郷系統の土曜日は約17%の減、地泉院系統は約28%の減であり、平和・千代田線は差が無く、大里循環線は約27%の減となっています。

平和・千代田線以外の路線における土曜日の利用者数は、平日と比較して少なくなっています。

○ 曜日別1日当りの利用者数

曜日 \ 路線	祖父江・ 下津線 ふれあいの郷系統	祖父江・ 下津線 地泉院系統	平和・ 千代田線	大里循環線
月曜日	72人	66人	24人	48人
火曜日	70人	64人	22人	46人
水曜日	65人	64人	25人	43人
木曜日	74人	62人	26人	41人
金曜日	70人	63人	24人	48人
土曜日	58人	47人	24人	33人
平日の平均	70人	64人	24人	45人

次のグラフは、曜日別1日当りの利用者数を運行路線別に示したものです。



(3) コミュニティバスの追加便運行状況

定員超過発生時に運行した追加便の状況は、7ページの表のとおりです。

追加便の運行台数は、1日当りに換算すると、祖父江・下津線 JR 稲沢駅方面が 0.4 台、同線 祖父江方面が 0.2 台、平和・千代田線 市民会館・中央図書館行きが 0.03 台、同線 千代田・平和方面が 0.007 台、大里循環線が 0.06 台と、試行運行期間における追加便の1日当りの運行台数（東西幹線上り 1.0 台、下り 1.2 台）と比べて大幅に減少し、恒常的に追加便が運行されていた状況は解消しています。

定員超過発生の解消を目的として乗車定員 14 人の運行車両を祖父江・下津線に導入したこと、また、利用者が多い区間「アピタ稲沢店～市民会館・中央図書館」を祖父江・下津線と大里循環線の路線で重複運行したことの効果が現れています。

なお、祖父江・下津線の平成 23 年 11 月と 12 月の追加便の運行台数及び利用者数が他の月より増加しているのは、荻須記念美術館で「特別展 生誕 110 年記念 荻須高德展」が開催（平成 23 年 10 月 29 日（土）～12 月 18 日（日））されたため、区間「国府宮駅～美術館・保健センター」の利用者が多かったことによるものですが、平成 24 年 3 月と 4 月の祖父江・下津線 JR 稲沢駅方面（ふれあいの郷または地泉院前⇒リーフウォーク稲沢）、平成 24 年 3 月の同線 祖父江方面（リーフウォーク稲沢⇒ふれあいの郷または地泉院前）における追加便の運行台数及び利用者数の増加については特段の理由がなく、5 月は減少しています。

祖父江・下津線 JR 稲沢駅方面（ふれあいの郷または地泉院前⇒リーフウォーク稲沢）の追加便の運行台数のうち「美術館・保健センター⇒国府宮駅」は、10 月が 3 台（同月の 60%）、11 月が 20 台（同 61%）、12 月が 11 台（同 58%）であり、同線 祖父江方面（リーフウォーク稲沢⇒ふれあいの郷または地泉院前）の追加便運行台数のうち「国府宮駅⇒美術館・保健センター」は、11 月が 11 台（同月の 61%）、12 月が 3 台（同 50%）となっています。

追加便の運行状況を分析しますと、運行が生じやすい便は、祖父江・下津線 JR 稲沢駅方面の第 3 便、第 4 便及び第 5 便、同線 祖父江方面の第 2 便となっています。

○ 各路線の追加便運行状況

路線 ()は 運行日数	祖父江・下津線 JR 稲沢駅方面		祖父江・下津線 祖父江方面		平和・千代田線 市民会館行き		平和・千代田線 千代田・平和方面		大里循環線	
	台数	人数	台数	人数	台数	人数	台数	人数	台数	人数
平成 22 年 7 月(26 日)	3 台	8 人	0 台	0 人	4 台	12 人	0 台	0 人	2 台	4 人
8 月(26 日)	7 台	22 人	2 台	3 人	2 台	4 人	0 台	0 人	1 台	1 人
9 月(24 日)	5 台	14 人	4 台	10 人	1 台	1 人	0 台	0 人	3 台	4 人
10 月(25 日)	4 台	8 人	1 台	1 人	2 台	6 人	0 台	0 人	3 台	7 人
11 月(24 日)	7 台	26 人	4 台	11 人	0 台	0 人	0 台	0 人	1 台	2 人
12 月(23 日)	4 台	9 人	2 台	5 人	0 台	0 人	0 台	0 人	0 台	0 人
平成 23 年 1 月(23 日)	4 台	4 人	0 台	0 人	0 台	0 人	0 台	0 人	1 台	3 人
2 月(22 日)	2 台	6 人	0 台	0 人	1 台	1 人	0 台	0 人	0 台	0 人
3 月(26 日)	10 台	26 人	5 台	14 人	0 台	0 人	0 台	0 人	2 台	4 人
4 月(25 日)	3 台	4 人	2 台	5 人	1 台	2 人	0 台	0 人	0 台	0 人
5 月(23 日)	1 台	4 人	1 台	5 人	0 台	0 人	0 台	0 人	1 台	2 人
6 月(26 日)	8 台	22 人	1 台	1 人	0 台	0 人	0 台	0 人	1 台	4 人
7 月(25 日)	6 台	13 人	0 台	0 人	1 台	2 人	1 台	2 人	2 台	5 人
8 月(27 日)	9 台	22 人	8 台	22 人	0 台	0 人	0 台	0 人	1 台	1 人
9 月(24 日)	10 台	25 人	2 台	5 人	0 台	0 人	0 台	0 人	0 台	0 人
10 月(25 日)	5 台	13 人	8 台	15 人	0 台	0 人	0 台	0 人	3 台	9 人
11 月(24 日)	33 台	100 人	18 台	54 人	0 台	0 人	1 台	3 人	2 台	5 人
12 月(23 日)	19 台	52 人	6 台	15 人	0 台	0 人	0 台	0 人	3 台	7 人
平成 24 年 1 月(23 日)	3 台	10 人	2 台	4 人	0 台	0 人	0 台	0 人	0 台	0 人
2 月(23 日)	9 台	25 人	6 台	21 人	0 台	0 人	0 台	0 人	3 台	4 人
3 月(26 日)	21 台	45 人	12 台	28 人	0 台	0 人	1 台	3 人	2 台	5 人
4 月(24 日)	14 台	42 人	6 台	15 人	2 台	4 人	1 台	2 人	1 台	1 人
5 月(24 日)	8 台	21 人	6 台	15 人	0 台	0 人	0 台	0 人	2 台	4 人
合 計	195 台	521 人	96 台	249 人	14 台	32 人	4 台	10 人	34 台	72 人
平 均 (1 か月当り)	8.5 台	22.3 人	4.2 台	10.8 人	0.6 台	1.4 人	0.2 台	0.4 人	1.5 台	3.1 人
平 均 (1 日当り)	0.4 台	0.9 人	0.2 台	0.4 人	0.03 台	0.06 人	0.007 台	0.02 人	0.06 台	0.1 人

3 コミュニティタクシーの利用状況

祖父江町地内で運行しているコミュニティタクシーは、コミュニティバスの運行路線変更及び運行便数増加に伴って、タクシー乗り場の新設・移設またはバス停留所への変更を行いましたが、タクシー乗り場数 12 か所は変更していません。

なお、タクシー乗り場と接続するバス停留所は、施設の休館日、利用者の安全面を考慮して「祖父江の森」から「祖父江支所」に変更しています。

平成 22 年 7 月 1 日から平成 24 年 5 月 31 日までのコミュニティタクシーの利用者状況は、次の表のとおりです。

1 か月当りの平均利用件数は、試行運行期間中の同件数 4.5 件から 1.2 件（約 73%減）と、より低調となっています。

これは、定期的な利用があったタクシー乗り場「中屋敷」、「長岡」、「神明津」、「中牧」を、バス停留所に変更したことが理由の一つであると考えております。

○ コミュニティタクシーの利用件数及び利用者数

年 月	利用件数	利用者数	年 月	利用件数	利用者数
平成 22 年 7 月	3 件	4 人	平成 23 年 8 月	0 件	0 人
8 月	1 件	1 人	9 月	0 件	0 人
9 月	0 件	0 人	10 月	1 件	1 人
10 月	2 件	6 人	11 月	0 件	0 人
11 月	2 件	2 人	12 月	2 件	2 人
12 月	2 件	2 人	平成 24 年 1 月	1 件	1 人
平成 23 年 1 月	0 件	0 人	2 月	2 件	2 人
2 月	0 件	0 人	3 月	0 件	0 人
3 月	4 件	8 人	4 月	3 件	3 人
4 月	0 件	0 人	5 月	0 件	0 人
5 月	2 件	2 人			
6 月	2 件	2 人	計	28 件	37 人
7 月	1 件	1 人	1 か月の平均	1.2 件	1.6 人

9～10 ページに掲載した表は、コミュニティタクシーの区間別利用状況を往路（各タクシー乗り場⇒停留所「祖父江支所」と復路（停留所「祖父江支所」⇒各タクシー乗り場）に分けたものです。

往路では「富士美ヶ丘」5 件、「ナビタウン」3 件の利用があるものの、タクシー乗り場 12 か所のうち 7 か所では 1 件も利用が無く、また、平成 23 年 6 月から平成 24 年 3 月までの 10 か月間は、すべてのタクシー乗り場で利用が無い状況が続きました。

復路では「大牧」11 件、「馬飼」2 件の利用があるものの、タクシー乗り場 12 か所のうち 7 か所では 1 件も利用が無い状況にあります。

今後、『運行事業計画』の見直しを行うに当たり、利用のあるタクシー乗り場をバス停留所に変更することを検討する必要もありますが、このように低調な利用状況が続く場

合は、コミュニティタクシー運行の継続の是非を検討すべき必要があると考えています。

○ コミュニティタクシーの区間別利用状況

往路（各タクシー乗り場⇒停留所「祖父江支所」）

※（ ）は人数

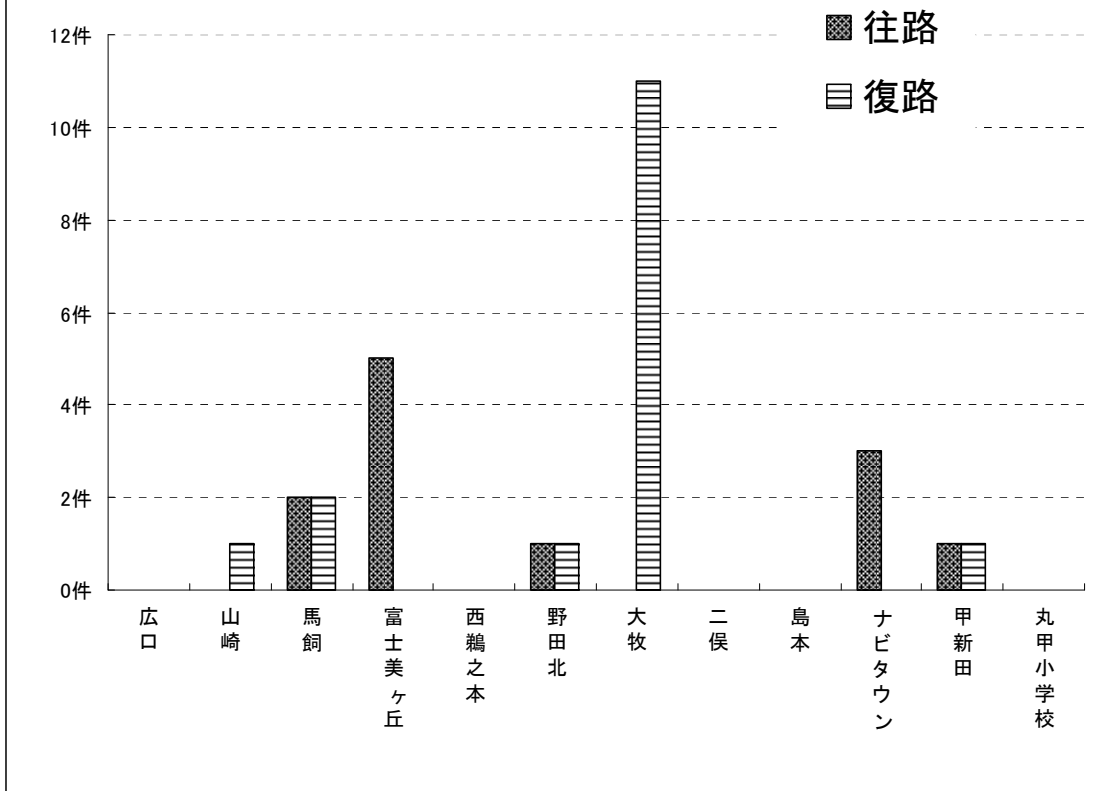
	乗車停留所	利用件数	月 計
平成 22 年 7 月	富士美ヶ丘	1 件 (1 人)	2 件 (3 人)
	ナビタウン	1 件 (2 人)	
8 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
9 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
10 月	甲新田	1 件 (3 人)	1 件 (3 人)
11 月	ナビタウン	1 件 (1 人)	2 件 (2 人)
	富士美ヶ丘	1 件 (1 人)	
12 月	富士美ヶ丘	1 件 (1 人)	2 件 (2 人)
	富士美ヶ丘	1 件 (1 人)	
平成 23 年 1 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
2 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
3 月	馬 飼	1 件 (1 人)	3 件 (5 人)
	馬 飼	1 件 (3 人)	
	富士美ヶ丘	1 件 (1 人)	
4 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
5 月	野田北	1 件 (1 人)	1 件 (1 人)
6 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
7 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
8 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
9 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
10 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
11 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
12 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
平成 24 年 1 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
2 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
3 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
4 月	ナビタウン	1 件 (1 人)	1 件 (1 人)
5 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
合 計	—	1 2 件 (17 人)	1 2 件 (17 人)

復路（停留所「祖父江支所」⇒各タクシー乗り場）

※（ ）は人数

	降車停留所	利用件数	月 計
平成 22 年 7 月	山 崎	1 件 (1 人)	1 件 (1 人)
8 月	大 牧	1 件 (1 人)	1 件 (1 人)
9 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
10 月	甲新田	1 件 (3 人)	1 件 (3 人)
11 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
12 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
平成 23 年 1 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
2 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
3 月	馬 飼	1 件 (3 人)	1 件 (3 人)
4 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
5 月	野田北	1 件 (1 人)	1 件 (1 人)
6 月	大 牧	1 件 (1 人)	2 件 (2 人)
	大 牧	1 件 (1 人)	
7 月	大 牧	1 件 (1 人)	1 件 (1 人)
8 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
9 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
10 月	馬 飼	1 件 (1 人)	1 件 (1 人)
11 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
12 月	大 牧	1 件 (1 人)	2 件 (2 人)
	大 牧	1 件 (1 人)	
平成 24 年 1 月	大 牧	1 件 (1 人)	1 件 (1 人)
2 月	大 牧	1 件 (1 人)	2 件 (2 人)
	大 牧	1 件 (1 人)	
3 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
4 月	大 牧	1 件 (1 人)	2 件 (2 人)
	大 牧	1 件 (1 人)	
5 月	—	0 件 (0 人)	0 件 (0 人)
合 計	—	1 6 件 (20 人)	1 6 件 (20 人)

タクシー乗り場利用状況



4 コミュニティバスの利用者1人当りの運行経費における市負担額

コミュニティバスの運行経費における市負担額は、運行事業者（名鉄西部交通株式会社）と契約した運行管理委託料から利用料金を差し引きした額となります。

そのため、利用者数が多いほど、市が負担する運行経費は少なくなります。

今後、限られた財源の中で利便性の向上を目指して『コミュニティバス運行事業計画』の見直しを検討していく上で、運行経費は重要な項目の一つと考えています。

次ページからのグラフは、各運行路線の平成22年7月1日の本格運行開始から1年目（平成22年7月1日から平成23年6月30日まで）と2年目（平成23年7月1日から平成24年5月31日まで）の利用者1人当たりの運行経費における市負担額の推移を表したものです。

なお、各運行路線における運行経費の積算数値は、次の表のとおりです。

【利用者1人当たりの運行経費の積算数値】

項目	金額	備考
祖父江・下津線 ふれあいの郷系統	1日1台当り 43,800円	平成22年7月1日～平成23年3月31日
	1日1台当り 44,500円	平成23年4月1日～平成24年3月31日
	1日1台当り 44,700円	平成24年4月1日～5月31日
祖父江・下津線 地泉院系統	1日1台当り 42,900円	平成22年7月1日～平成23年3月31日
	1日1台当り 43,100円	平成23年4月1日～平成24年3月31日
	1日1台当り 43,800円	平成24年4月1日～5月31日
平和・千代田線	1日1台当り 39,500円	平成22年7月1日～平成23年3月31日
	1日1台当り 38,900円	平成23年4月1日～平成24年3月31日
	1日1台当り 39,700円	平成24年4月1日～5月31日
大里循環線	1日1台当り 38,500円	平成22年7月1日～平成23年3月31日
	1日1台当り 38,000円	平成23年4月1日～平成24年3月31日
	1日1台当り 38,600円	平成24年4月1日～5月31日
大里駅乗り入れ 構内営業料	1月あたり 8,453円	平成22年7月1日～平成24年5月31日は、大里循環線の運行経費に計上
国府宮駅乗り入れ 構内営業料	1月あたり 24,000円	平成22年7月1日～平成24年5月31日において、3路線2系統の運行経費に按分して計上

追 加 便	距離制運賃	追加便を運行した路線の運行経費に計上
-------	-------	--------------------

次のグラフ1は、各運行路線の本格運行開始から1年目の利用者1人当たりの運行経費における市負担額の推移を表したものです。

祖父江・下津線 ふれあいの郷系統の市負担額は、平成23年1月が579円と最も高く、同年4月の550円と同年3月の459円（最低額）を除いた他の月は、475円～524円の間で推移しています。

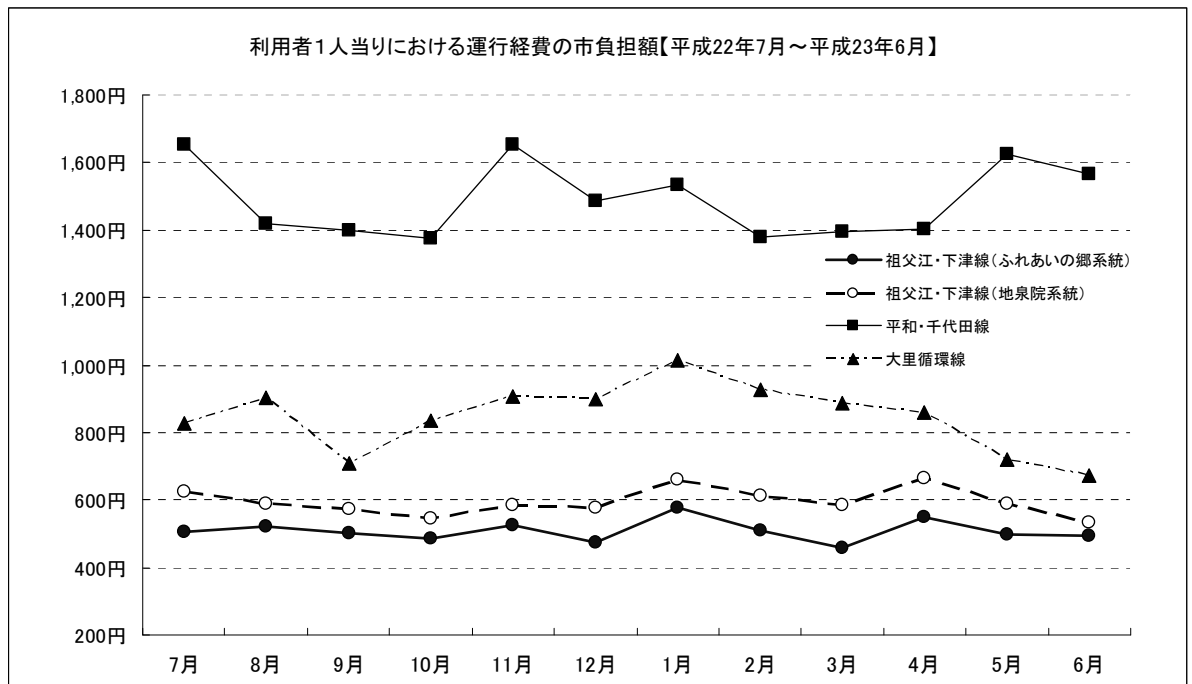
同線 地泉院系統の市負担額は、平成23年4月が663円と最も高く、同年1月の660円と同年6月の532円（最低額）を除いた他の月は、545円～623円の間で推移しています。

平和・千代田線の市負担額は、平成22年7月の1,655円を最高額として1,500円を超える月が5回あり、他の月は1,379円～1,488円の間で推移し、平成22年10月の1,374円が最低額となっています。

大里循環線の市負担額は、平成22年9月、23年1月の1,015円（最高額）、同年6月の674円（最低額）を除いた他の月は、709円～926円の間で推移しています。

なお、各運行路線の市負担額の月平均は、祖父江・下津線 ふれあいの郷系統が508円、同線 地泉院系統が595円、平和・千代田線が1,491円、大里循環線が847円であり、平和・千代田線の市負担額の1か月当たりの平均は、祖父江・下津線 ふれあいの郷系統の市負担額の約3倍となっています。

グラフ1



次のグラフ2は、各運行路線の本格運行開始から2年目の利用者1人当たりの運行経費における市負担額の推移を表したものです。

祖父江・下津線 ふれあいの郷系統の市負担額は、平成24年1月が552円と最も高く、同年2月の510円を除いた他の月は500円を下回っており、平成23年12月の410円が最も低くなっています。

同線 地泉院系統の市負担額は、平成23年9月が575円と最も高くなっていますが、この月を除いて430円（最低額）～516円の間で推移しています。

平和・千代田線の市負担額は、平成24年5月の1,590円を最高額として1,500円を超える月が4回あり、他の月は1,255円（最低額）～1,485円の間で推移しています。

大里循環線の市負担額は、平成24年1月が752円と最も高く、この月を除いた他の月は548円（最低額）～664円の間で推移しています。

なお、各運行路線の市負担額の1か月当りの平均は、祖父江・下津線 ふれあいの郷系統が471円（運行1年目と比べて7%減）、同線 地泉院系統が490円（同18%減）、平和・千代田線が1,460円（同2%減）、大里循環線が620円（同27%減）であり、これは祖父江・下津線 地泉院系統と大里循環線の利用者数の増加によるものです。

平和・千代田線の市負担額の月平均は、運行1年目と同様に祖父江・下津線 ふれあいの郷系統の市負担額の約3倍となっており、今後、運行路線の見直しを検討するにおいて参考にするべき点であると考えています。

グラフ2

